

平成23年度開設予定大学院等認可申請一覧

1 大学院を設置するもの 3校

平成22年12月

区分	大学院名	研究科名 専攻等名	入学 定員 人	位置	設置者	留意事項	備考
私立	日本赤十字秋田看護大学大学院	看護学研究科 看護学専攻 (M)	12	秋田県秋田市	学校法人 日本赤十字学園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設置の趣旨・目的等が活かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、学術の理論及び応用を教授研究するという大学院の目的に照らし、開設時から充実した教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。</li> <li>・助産学分野については、本大学院の掲げる理念や目的に対応した講義科目や課題研究となるよう見直し、大学院教育としてよりふさわしい教育課程となるよう改めること。(特に、入学者として既に助産師資格を有する者を想定するのであれば、それに対応した教育課程となるよう改めること。)</li> <li>・教員の年齢構成が高いため、教育研究の継続性を踏まえ、日本赤十字学園6大学ネットワークによる教員確保をはじめとする今後の採用計画など、教員組織編成の将来構想を着実に実行すること。(また、完成年度後に新たに配置予定の教員については、可能な限り早期に配置するよう努めること。)</li> </ul>	・大学院設置基準第14条特例の実施
"	兵庫医療大学大学院	看護学研究科 看護学専攻 (M) 医療科学研究科 医療科学専攻 (M)	8 6	兵庫県神戸市	学校法人 兵庫医科大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設置の趣旨・目的が活かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、学術の理論及び応用を教授研究するという大学院の目的に照らし、開設時から充実した教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。</li> <li>・既設校について、認可の前提となった設置計画が大幅に変更されているので、設置計画を確実に履行するとともに、その計画に変更を加えるときは事前に協議すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学院設置基準第14条特例の実施</li> <li>・大学院設置基準第14条特例の実施</li> </ul>
"	山口学芸大学大学院	教育学研究科 子ども教育専攻 (M)	5	山口県山口市	学校法人 宇部学園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設置の趣旨・目的が活かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、学術の理論及び応用を教授研究するという大学院の目的に照らし、開設時から充実した教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。</li> <li>・設置の趣旨において、芸術を基盤とする教育の理論と実践の体系化を掲げていることから、それに応じた教育課程となるよう一層の充実を図ること。</li> <li>・教員の年齢構成が高いため、教育研究の継続性を踏まえ、今後の採用計画など、教員組織編成の将来構想を着実に実行すること。</li> <li>・山口芸術短期大学芸術表現学科の入学定員比の平均が0.7倍未満となっていることから、今後の定員充足の在り方について検討すること。</li> <li>・学生等の募集を停止中の慶進高等学校総合ビジネス科及び情報処理科については、再開するか否かなどについての検討を速やかに行い、適切な措置を講ずること。</li> </ul>	
計	3校	4研究科 (M) 4専攻	31				

2 研究科を設置するもの 5校

区分	大学院名	研究科名 専攻等名	入 学 定 員	位 置	設 置 者	留 意 事 項	備 考
公立	兵庫県立大学大学院	シミュレーション学研究科 シミュレーション学専攻 (M)	20	兵庫県神戸市	兵庫県	・想定される卒業後の進路に修了生が確実に進めるよう、履修指導やカリキュラムの内容を充実し、不断の検証を図るとともに、本研究科に入学するにふさわしい学力や実績を有した学生が適切に選抜されるよう、入学者選抜要項の記載や入試方法についても不断の検証を図り、必要に応じ見直すこと。	
私立	帝京平成大学大学院	臨床心理学研究科 臨床心理学専攻 (P)	10	東京都豊島区	学校法人 帝京平成大学	<p>・設置の趣旨・目的等が活かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、学術の理論及び応用を教授研究するという大学院の目的、さらに理論と実務を架橋して高度専門職業人の養成に特化した教育を実施するという専門職大学院の目的に照らし、開設時から充実した教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。</p> <p>・専任教員について、実務家教員とそれ以外の教員が確実にその役割・責任を踏まえた授業科目を担当し、学生への指導が適切に行われるよう不断に検証すること。 また、演習・実習科目のうち実務家教員のみが担当するものについては、その科目の内容を踏まえ、実務家以外の教員と連携するよう改めること。</p> <p>・本研究科の修了生が臨床心理職として安定的・持続的に就職できるよう、大学として責任ある就職支援体制を整備し、就職支援の充実を図ること。</p> <p>・本研究科の設置に伴い廃止予定の健康科学研究科臨床心理学専攻 (M) における毎年の修了生に占める臨床心理士資格認定試験のこれまでの合格者数の割合が低いと考えられることから、例えば、学部教育で心理学を十分に学んだ学生の入学数を増やすため、入試方法・内容を改善するなど、本研究科の毎年の修了生に占める臨床心理士資格認定試験の合格者を増加させるよう適切な方策をとるよう努めること。</p> <p>・「心理統計法特論」の内容が、一般的な学部の概論科目のものであり、エビデンスを扱った報告書の作成などへつなげる観点に重きを置いたものとなっていないため、臨床的なエビデンスに統計的な処理をする工夫やその処理結果の解釈に関するディベート等を通じて、心理学的な統計を報告書に適用する能力が修得できるような内容へ改めることにより、より専門職大学院にふさわしい科目とすること。 また、演習科目及び実習科目について、その目的が報告書の作成にとどまっているものが多く見られるが、同様に、各実習等における心理検査の結果の解釈にとどまらず、臨床的所見や治療への示唆などにも踏み込めるような内容へ改めることにより、より専門職大学院にふさわしい科目とすること。</p>	<p>・学校教育法第99条第2項に規定する専門職大学院の設置</p> <p>健康科学研究科 臨床心理学専攻 (廃止) (Δ20) 平成23年4月学生募集停止</p>

区分	大 学 院 名	研究科名 専攻等名	入 学 員 定 数	位 置	設 置 者	留 意 事 項	備 考
	(帝京平成大学大学院 つつき)					<ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床心理センター等への来談者数を増員する計画について、着実に計画どおり実行すること。</li> <li>・博士の学位を持つ専任教員を増員する計画について、着実に計画どおり実行すること。また、完成年度以降においても博士の学位を持つ専任教員の割合を増加させるような教員組織編成の将来構想を明らかにすること。</li> <li>・多くの授業科目を担当する専任教員については、教員自身の研究や実務に従事する時間が確保されるよう、負担軽減を図ることにより、教育の質の確保やそれに伴う学生の指導体制の充実に努めること。</li> <li>・本研究科の理念・目的を達成するためには学部教育で十分に心理学を学んだ学生を入学させることが望ましいと考えられるが、本研究科においては学部教育で心理学を学んでいない学生も入学させることから、そうした学生に対する心理学に関する補充教育を充実させること。 また、その補充教育の実施においては、臨床心理学に偏るような内容では心理学全般としての専門知識が著しく不足すると考えられるため、日本心理学会認定心理士の資格取得のためのカリキュラムを参照し、基礎的心理学科目（例えば、心理学の基礎実験や実験演習をはじめ、学部の心理学科で修得する心理学諸領域の専門科目）が修得できるよう補充教育の内容を改めること。</li> <li>・専任教員の補充を必要とされた1授業科目については、科目開設時まで専任教員を充足すること。</li> <li>・現代ライフ学部人間文化学科及び経営マネージメント学科の入学定員超過の是正に努めること。</li> <li>・学生生徒等納付金に対する経常的経費支出の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べて低いことから、同納付金の学生への還元を努めること。</li> <li>・現代ライフ学部レジャービジネス学科、地域医療学部柔道整復学科の入学定員比の平均が0.7倍未満となっていることから、今後の定員充足の在り方について検討すること。</li> </ul>	
私立	中部大学大学院	生命健康科学研究科 生命医科学専攻（M） 看護学専攻（M）	12 6	愛知県春日井市	学校法人 中部大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の年齢構成が高いため、教育研究の継続性を踏まえ、今後の採用計画など、教員組織編成の将来構想を着実に実行すること。</li> <li>・人文学部心理学科、経営情報学部経営情報学科、工学部電気システム工学科及び情報工学科、並びに応用生物学部応用生物化学科の入学定員超過の是正に努めること。</li> <li>・既設の大学等の消費支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実に努めること。</li> <li>・国際関係学部中国語関係学科の入学定員比の平均が0.7倍未満となっていることから、今後の定員充足の在り方について検討すること。</li> </ul>	
〃	名城大学大学院	人間学研究科 人間学専攻（M）	8	愛知県名古屋	学校法人 名城大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「コミュニケーション特別演習」のシラバスに関して、</li> <li>・本授業科目の目的を、研究方法の習得とともに学生のコミュニケーション能力の向上に重点を置く内容とするよう明確化し、</li> <li>・事前指導及び事前調査について、学生が自らの問題意識を深化させた上で、学生が調査先を設定できるものとし、</li> <li>・現地調査について、利害や立場を異にする関係者へのインタビューのような限定的なものせず、自らの問題意識を適切に展開できる内容となるものとし、</li> <li>・評価の視点として、学生のコミュニケーション能力の向上が適切になされたという評価項目を設定するよう、その内容を改めること。</li> <li>・評議員の選任方法に誤りがあるので、寄附行為の規定に基づき適切に行うこと。</li> </ul>	

区分	大 学 院 名	研 究 科 名 専 攻 等 名	入 学 定 員	位 置	設 置 者	留 意 事 項	備 考
私立	中国学園大学大学院	子ども学研究科 子ども学専攻 (M)	5	岡山県岡山市	学校法人 中国学園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設置の趣旨において、高度な学識と研究的視点を持ち、生活者としての子どもを全人的に支えることができる実践家の養成を掲げていることから、設置計画を確実に履行するとともに、それに応じた教育課程となるように一層の充実を図ること。</li> <li>・大学院設置基準第14条特例の実施に伴い、昼夜双方の学生の教育研究に支障のないような時間割となるように配慮するとともに、学生に対する履修指導の充実に努めること。また、履修モデルについて、履修順序や履修体系が分かりやすいものとなるように見直しを図ること。</li> <li>・教員の年齢構成が高いため、教育研究の継続性を踏まえ、今後の採用計画など、教員組織編成の将来構想を着実に実行すること。</li> <li>・理事会・評議員会の運営に関し、以下の事項について適切に行うこと。 [寄附行為の変更に関する理事会・評議員会の開催順序]</li> <li>・既設の大学等の消費支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上に努めること。</li> <li>・現代生活学部人間栄養学科及び中国短期大学英語コミュニケーション学科の入学定員比の平均が0.7倍未満となっていることから、今後の定員充足の在り方について検討すること。</li> </ul>	・大学院設置基準第14条特例の実施
計	5 校	5 研究科 (M) 5 専攻 (P) 1 専攻	51 10	認可申請に伴う、既設学部等の入学定員の変更状況 大 学 院           △ 20			

(注) 「備考」欄の( )書きの数字は、今回の認可申請に伴う、既設学部等の入学定員の変更状況を示す。

3 専攻設置又は課程を変更するもの 2校

区分	大 学 院 名	研 究 科 名 専 攻 等 名	入 学 員 定 員	位 置	設 置 者	留 意 事 項	備 考
私立	上智大学大学院	総合人間科学研究科 看護学専攻 (M)	9	東京都千代田区	学校法人 上智学院	・特になし。	・大学院設置基準第14条特例の実施
〃	福岡大学大学院	医学研究科 看護学専攻 (M)	6	福岡県福岡市	学校法人 福岡大学	・特になし。	・大学院設置基準第14条特例の実施
計	2 校	2 研究科 (M) 2 専攻	15				